

令和6年度第2回広島市都市デザインアドバイザー会議 会議要旨

1 開催日時

令和6年（2024年）7月25日（木）15時40分～17時15分

2 開催場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者

出席委員（6名）

田中 貴宏、角倉 英明、今川 朱美、高田 由美、吉田 幸弘、塚本 梓織

欠席委員（1名）

中村 圭

4 議事

- (1) 座長及び副座長の選任
- (2) 平和大通り公園整備事業について（1回目会議）
- (3) 広島市西風館増築工事について（報告）

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者 1名

報道関係傍聴者 1社

7 会議資料

会議次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、広島市都市デザインアドバイザー会議開催要綱、広島市都市デザインアドバイザー会議運営規程、議事資料

8 会議要旨

(1) 議事1 座長及び副座長の選任

出席者の推薦により、座長に田中委員、副座長に角倉委員が選任された。

(2) 議事2 平和大通り公園整備事業について（1回目会議）

議事内容の説明を行い、デザイン上の配慮事項に関する提案を受けた。今後の検討事項は次のとおりである。

ア 南北の分断について

- ・南北をつなぎ、南北に対して開くようなデザインにしてほしい。
- ・副道側に開いていくことを工夫してほしい。

イ ランドスケープのデザインについて

- ・エッジを明確にしない（例えば芝生と花壇の間）など、開放感のあるデザインとしてほしい。

ウ 眺望景観について

- ・比治山など、遠くから見るということを意識したデザインがあると良い。

エ 配置について

- ・有効に使われるような配置を検討してほしい。
- ・配置の意図が伝わるように、ゾーンごとの名前を検討してほしい。

- ・ゾーンの端に来た時に、次のゾーンに行きたいと思える魅力的な機能を持った施設を誘導してほしい。

オ 建築物のデザインについて

- ・有機的なものや生物的なものを検討してほしい。

会議所掌対象外の意見

カ 遊具について

- ・種類や色の見直し、材料に配慮して、広島らしい遊具を検討してほしい。
- ・イサム・ノグチは遊具もデザインしているので、西平和大橋にスポットが当たるようイサム・ノグチの遊具を配置できればよい。

キ 道路標識について

- ・環境に配慮した色に変更できるのか、検討してほしい。

ク イサム・ノグチのPRについて

- ・今ある工夫や今までの歴史などが可視化できるようなことを検討してほしい。

ケ 緑について

- ・街路樹の伐採のタイミングをきちんとしてほしい。
- ・伐採した街路樹の再利用を検討してほしい。
- ・周りの建物に向けて、平和大通りを中心とした緑の拠点をつくってほしい。

(3) 議事3 広島市西風館増築工事について（報告）

これまでの検討での委員からの意見等を踏まえた最終的な設計内容について報告を行った。

今後の管理など、引き続き注意してほしい事項については次のとおりである。

ア サイン計画について

- ・既存棟と増築棟のネーミングについて、丁寧に検討してほしい。

【会議概要】

○地井都市デザイン担当課長

（開会挨拶、配布資料確認、出席者紹介及び議事説明、座長及び副座長の選任）

○田中座長

それでは、本日の議事(2)「平和大通り公園整備事業について（1回目会議）」の説明をお願いします。

○宮本観光企画担当課長

（議事(2)「平和大通り公園整備事業について（1回目会議）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○高田委員

現地視察において、Bゾーンの南側には灯籠がたくさんあるので和風にするという話を伺ったが、いろんなところにも点で灯籠や慰霊碑がある。この灯籠はもう移動することはできないのか。また、最初にその灯籠を据えられたときの意図というか、その場所にある意味などがあるのか。

○小山専門員

石灯籠は、平和大通り全体に点在している状況である。これは寄贈を受けたもので、いろんな種類のもので設置されていると聞いている。整備に当たっては、まだ具体的に決まっていないが、移設することも可能となっているため、石灯籠や園路等も含めた全体について、適切な配置になるように、今後、実施設計を進めていきたいと考えている。

○吉田委員

先ほど、成り立ちの説明があり、戦時中は延焼防止のための緩衝帯ということだったが、その機能は変化し、今はまちの東西の中心軸ということは、これはシンボルだと思う。

よって、そうした意識と、逆に戦時中の機能のように、北と南を分断してはいけないと思うので、それぞれ北側、南側でゾーンごとにいろんな施設を考えられているが、そのことで何か南北の分断が起きないように、レイアウトに配慮してほしいと思う。

それから、比治山公園のリニューアルで、これから改修工事に入ると思うが、展望台からの眺望に配慮した平和大通りの在り方、少し上空についても配慮してほしい。

あとは、老齢化した樹木について、最近大きな台風が多いので、供木運動によって同時期に植えられた木も多いため、倒れる前の伐採のタイミングをきちんとしてほしいということと、腐った木はしようがないと思うが、再利用について、広島駅のほうでは、今、伐採した街路樹のクスノキを使っていろいろなものに再利用している。同じようなことが平和大通りでもできることが望ましく、伐採した代わりに今度は若木の植樹の促進にもつながるのではないかと考えている。

先月、東京に屋上庭園やオープンテラスなどの視察に行ったが、意外なほど緑化がすごかった。おそらくヒートアイランド現象の抑制などで条例化しているかと思うが、広島はまだ東京に比べて緑が多いので、なかなか東京に比べると屋上緑化やビルの壁面緑化などが進んでいないというのが少し印象としてある。やはりこれは広島のシンボルで、緑が中心なので、そういった周辺のビルなどに協力要請みたいなものをお願いしたほうがいいのではないかと考えている。

現地視察のときに、道路標識が全国共通の青色に白字であったが、管轄は警察だと思うが、特例的なことで、環境に配慮した色に変えてもらえるような、そういうお願いができるのかできないのか、検討してほしいと思う。

遊具の種類について、現在、ジャングルジムや滑り台などいろいろあったが、相当前の時代的な遊具だと思うので、その種類と、特に色の見直しが必要だと思う。

来年は被爆80周年だが、その20年後には被爆100周年という大きな節目の年が控えている。それに向けた、もっと被爆百数年を見据えた、何かドラマチックな平和大通り自身の更新みたいなものもそろそろ考えたほうがいいのかなどは思う。例えばパリのシャンゼリゼには凱旋門みたいな大きなモニュメントもあるが、そんな夢のあるようなことも少し考えたいなと個人的には思っている。

○小山専門員

直接所管していないこともいろいろ御意見をいただいたので、その御意見、御提案を踏まえて実施設計に向けて取り組んでいきたいと考えている。

○今川委員

Fゾーンで、至るところに花壇を考えられているが、一体どんな花壇を設置されるのか気にかかる。9ページの写真①にあるような花壇の場合、ベンチの代わりにになり、そのように利用されている方も実際に見る。そういった多機能な花壇というのはいいと思うが、中途半端に縁取りをされた花壇も見受けれる。例えば市役所の屋上の花壇は、その縁取りが傷んでいる。どうしても小さい子供はその縁を歩いて、落ちて、転倒して、けがにつながる。そういうあやふやな縁取りの花壇を考えられるのであれば、イギリスなどでは花壇の縁取りはしない。芝生のところなどで、丸や四角に切って花を植えるというのは、花を植えているところに入られては嫌だという日本的な考え方である。あまり日本では見かけないが、インターナショナルな感じの花壇というのも御検討いただく余地があれば、危険回避のためにも少し念頭に置いてもらえたらいいなと思う。

遊具について、大体遊具屋さんのもので設置されることが多いと思うが、広島市の緑政課では、間伐材を使ってプランターを作って花を植えて緑化されている。そのような方向で広島らしい遊具というのを造ることはできないのかということも、安全性などの問題があるかもしれないが、考えてもらえたら嬉しいなと思う。

東屋を考えられているが、例えばEゾーンで、8ページの写真①の今ベンチがあるところでは、右上の整備イメージのようなものを考えていると思うが、ここはすごく自転車が

置かれている。今ある自転車をどうするのかということも考えていかないと、せっかくいいものを造っても、ちょうどいい屋根の下に自転車がいっぱいということになりかねないので、検討してほしい。

また、ここは平和の道と交差する。広島市は、何十年前に考えられた計画がいつの間にか忘れられて、そんなのあったみたいな扱いになっていることが非常にいつも残念だなと思うので、いつぞやの時代に平和の道としてせっかく整備されているので、それを分断するようなものではなく、それを浮かび上がらせられるようなものにしてもらえたらありがたいと思う。

私が広島に着任した際、平和大通りを見たときに、京都よりもずっと立派な都市だと思った。そんな都市だったが、なれ親しんでくると、根っこが張って歩みにくいか、歩道はがたがたになっているとか、目につくようになった。これとよく似た道路が世界中にどこにあるかといったら、一つはボストン、もう一つはスペインにも100メートル道路というものがある。そういったところの歩道と公園や緑地の扱いがそれぞれ国の特徴があると思う。せっかく広島もこういう財産を持っているので、それらに負けないような公園整備を期待している。

○小山専門員

9ページの写真①の花壇について、Fゾーンに限らず平和大通り全体にこうした花壇が点在しているが、公園の区域ではなく、主には道路区域にあるものになるので、こうした花壇については引き続き、写真にあるように、季節ごとに花を植え替えるような花壇として残すことを考えている。

一方で、緑地内に新たに整備する花壇については、整備イメージの中で考え方を示しているが、樹木の芽の保護など、そういったことを目的にし、明るい樹林下では、葉の色が美しく日陰でも育つ植物を中心とした花壇を設置して、散策のアクセントとなるようなものにしていきたいと考えている。

○塚本委員

Bゾーンに遊具やじゃぶじゃぶ池を計画されているが、私も小さい子供がいて、まだ目が離せないので多分一緒に遊ぶと思う。この向かい側にスーパーがあるので、お買物をして、ここで遊んでてねって言える年になったら言うかもしれないが、正直この地域は子供だけで遊ばせたくない。平和大通りの中で一番ここは子供を放置したくないゾーンだったので、どこまでそれを改善できるのかという不安がある。この場所にこれらを持ってきたのは何でだろうと少し思った。

また、これは私の個人的な意見だが、モニュメントや花壇などについて、広島や日本だけのものではなく、海外の方も参加型にしてもらったら、自分たちの国の何かを見に来るのではないが、いろんな方にもっと来てもらえるのかなと思った。

○小山専門員

Bゾーンについて、現在でも遊具が設置している広場があることから、遊具の更新をするということで、遊具の広場を設けることを考えている。少しその地域としての安全面に不安があるということだが、緑地帯を公園として整備するのに合わせて、例えば見通しの悪い樹木を撤去することなどで、公園としてなるべく安心して遊んでもらえるような整備というものを併せてしていきたいと考えている。

また、夜間に遊ばせるということはないかもしれないが、照明灯の充実なども公園整備の中でやっていきたいと考えているところである。

○今川委員

Bゾーンの現在ある公園の利用率は分かっているのか。

○小山専門員

把握していないので、すぐにお答えできない。

○今川委員

私の記憶では、街中の公園は利用率がとても低い。更新はありがたいことだが、使われる見込みがないのなら、使ってもらえる確信があってから必要とされる公園整備をするほうがもったいなくないと思う。隣接する施設の利用者やニーズを見ると、ここにあるよりは、まだ南側の緑地帯に公園があるほうがありがたいのではないかと思う。自転車置場があるので、自転車で来たお母さんがそのままという可能性もあるかもしれないが、場所が違うのではないかという印象を受けた。

○角倉副座長

現地視察をして、基本的な説明も聞きながら少し感じたことは、何となくこの平和大通りを東西で考えられているというところが強い。さっき吉田委員が言われたように、南北の分断みたいなところを対応しないと、はっきり言って公園として魅力が上がるのかなと非常に危惧している。

確かに後ろ側に駐車場や駐輪場があるが、やはり南北をなるべく開く形にしておかないと、公園の表が基本的に大通り側に全て向いてしまうという弱点を持ってしまうので、副道側にかなり開いていくことを少し工夫したほうがいいと思う。

それに合わせて、例えばトイレなどの施設を配置しないと、結局使わない人が増えると思うので、対象外なのは分かっているが、駐輪場や駐車場を含めて、南北の関係性も踏まえた全体の対応を少し検討してもいいのではないか。

あと、各大通りに分断されてしまう形にはなるが、その端になったときに、隣のゾーンが行ってみたいな、わくわくするなという感じを思えないと行かないと思う。特に平和記念公園の前まで行くと、Eゾーンまでは皆さん行くと思うが、恐らくそこから西側にはなかなか行かないと思うので、例えば橋詰めに立ったときに、行ってみたいかなということ、今だからこそ変えられるのであれば、そこに魅力的な機能を持った施設を誘導しておかないとつながっていかない。それこそ塚本委員と一緒に、確かに市民の方が、トイレが欲しいからトイレを置く、ベンチがあるからいい、置くというのはいいことだが、もう少し対象を広げた中でのニーズを読み取った施設の配置、施設の機能を考えるといいと思った。

次に、東屋やトイレなど様々な建築物を置くということ自体はいいと思う。そのときに、やはり平和大通りのコンセプトは何かというと、ある種の「生」である。そうすると、建築の形態自体もそういうものに寄っていったほうが良いと思う。もしこれが建ったら嫌だなと思っていたものが建っていて、Bゾーンの東屋を見たときに少しぎょっとしたので、そこは練ってほしいと思う。生物的、有機的な形態を持つ建築みたいなもの、若しくはこの森の中、公園の中に隠れるようなあまり主張のないものなど、どちらかちゃんと分けられて、コンセプトに合わせて考えたほうがいいと思う。

最後に、やはり平和記念公園も含めたこの平和大通りが長く続くということを恐らく担当の方々も思いながら整備されているんだろう、デザインされていくんだろうと思ったときに、一つ大事な機能としてあるのは、若い人たちがある種の文化みたいなものを発信できる空間が恐らく要るのではないかと思う。もしかしたらアートのものかもしれないし、3ページに音楽イベントなどが書いてあるが、この辺りのイベントや若者文化みたいなものを許容できる、彼らが楽しめる空間をつくっていくということが実は結構大事なのではないかと思った。可能であれば、屋根付休憩所やトイレなどとともに、若者が文化を発信できるような空間や機能を検討するいいと思う。

○小山専門員

若者もといったような利活用については、1ページのスケジュールのソフト事業というところで、整備と併せてソフト事業として利活用の取組というのを進めている。整備後の広場について、公園の魅力を高められるように、並行して整備と取組を進めていきたいと考えている。

○吉田委員

3ページの整備の方向性の中に、イサム・ノグチのPRブースとあるが、ぜひお願いしたいのは、イサム・ノグチの平和大橋と西平和大橋の二橋でいつも話題になるのは平和大橋のほうで、西平和大橋はなかなか話題に上がらないが、造形的にも二つで一つであり、

対となるデザインである。それも、たまたまその川の地形上、南北の軸線に対してシンメトリーな形で配置されている。そういったことをぜひPRしてほしいのと同時に、イサム・ノグチは遊具もデザインしているので、西平和大橋にもう少しスポットが当たるような、できればイサム・ノグチデザインの遊具等も緑地帯に置ければいいなと思う。

○塚本委員

八丁堀の白島線の電停のところにトイレがあるのはご存知か。そのトイレの前はタクシー運転手のたまり場になっている。夜もすごく臭く、治安的にもあまり良くない。トイレを配置するのは嬉しいが、同じような現象にならないようにしてほしい。特に今日見に行ったBゾーンは、恐らく駐輪場の裏側などに車を止めやすいと思う。止まっていたら本当は駄目だが、割と止めやすいと思うので、その辺りをもう一度少し考えてほしい。

○今川委員

イベント用に電気と水の設備を使ってもらえるようにすると言っていたが、ニューヨークのすごく寂れていたひどい治安の公園に、ハンバーガーショップなどを毎日出向くようにしただけで、その公園は結構いい感じになったという事例がある。せっかく電気と水を使えるようにするなら、広島のパノシア記念公園に行けばファストフードでも何でもいいが、そのようなものが来て食べられるとなると、昼間の仕事をしている人などの利用も増え、そういった意味で、もしかしたら違う活性化というのが見込めるかもしれないので、整備をするならイベントだけではなくて何に使えるかという汎用性を考えて整備してほしいなと思う。

また、樹木の説明のパネルを作ると言って、2ページに被爆樹木の説明板とは書かれているが、それをいろんな樹木に対しても付け替えするのか。

○小山専門員

平和大通りにあるその他の木についても説明板を設置することまでは、今の計画の中には入っていない。

○今川委員

全部ではなくて、姉妹都市になったから送ってもらった木、どこどこ市からもらった木などを書いていくときに、平和大橋と西平和大橋の説明板なども一緒に作ろうと思っているか。

○小山専門員

平和大橋や西平和大橋は、道路施設ということもあり、そういった説明板を設置することは今考えていない。

○今川委員

自転車道の整備と今回の緑地の整備は、全く別物なのか。

○小山専門員

事業としては別だが、整合性を取りながら整備し、お互いの区域について調整しながら計画しているところである。

○今川委員

整合性ということであれば、例えば中央公園の整備も今進んでいるが、上から見たときに輪をデザインツールの一つにしているみたいである。いろんなところで、ゲートパークも上から見たら輪のようにしている。平和の輪で輪にしていると思っているが、せっかくそのようなデザイン展開をしても他が全く引き継がないので、そこだけの話になってしまっている。どこかで思いついたことを、いいものであれば、広島市全体に広げていくとすごく統制の取れた美しい広島になっていくと思うが、それっきりになってしまうのが非常に残念である。今回もそのように木を大切に緑の広がる広島にしようとしているが、平和大通りだけで止まってしまったら、これまた残念と思うので、どこかで広がった波紋をちゃんと受け取って、ここでも採用してもらえるような展開をすごく期待する。

ちなみに、イサム・ノグチの西平和大橋は日本で初めてできた溶接橋である。リベット

橋が主流だったが、平和大橋と西平和大橋でリベット橋と溶接橋を同時に造ってみて、構造的にどちらがいいのか検証するために違うようにしたと聞いた。そういうことも含めて、私たちだけが知っているのではなく、それを見に来た方がすごいなと思ってくれることなどがあれば、どんどん広島の名所が増えると思うので、木だけ銘板を作って終わりではなく、いいものを知らしめるような、統一的な案内板を一緒に検討してもらえたらありがたい。

○小山専門員

実施設計を進める中で、可能なものについては参考にさせていただく。公園整備以外のことについていただいた御意見は、関係課に伝えるなど対応させてもらう。

○田中座長

それでは、皆様から御意見をいただきましたと思うので、まとめをさせていただく。

大きくは全体の話と個別の話があったと思う。

全体の話については、4つほどあったと思う。

一つ目は、南北の分断について、もう少しつながりような、南北に対して開くようなデザインがあり得るのではないかという御意見をいただいたと思う。

二つ目は、全体のランドスケープのデザインについて、今まで造ってきた花壇とは違う花壇の在り方があるのではないかと、全体的に今の時代のランドスケープのデザインとして、開放感や「開く」という方向性、エッジを明確にしないなど、全体の方向性としてはある。そう考えたときに、例えば芝生とその花壇の間があまり明確にしないというようなことを、全体のデザインとして考えていただけるといいかと思う。

三つ目は、眺望景観について、比治山の展望台からの景観という話があったが、少し遠くから見るということを意識したデザインがあると良いと思う。

四つ目は、全体の配置について、今あるものを踏襲するということを前提に考えられているが、石灯籠の話も含めて、もっと有効に使えるような配置があるのではないかと思う。加えて、個人的には、AやBなど、ゾーンに一応名前がついているが、それぞれのゾーンの性格はもう少し明確にしたほうが良いと思う。最近、特に縦方向に長い公園でよくあるが、「ここは何かゾーン」ですという、すぐ分かるような名前をつけ、それに合わせた整備、デザインがなされている。そのようなことができると、市民の皆様に各ゾーンの特徴が伝わりやすくなるように思った。

個別の話については、5つほどあったと思う。

一つ目は、遊具について、これからということはあるかと思うが、広島材料を使ったようなものなど、少し広島らしさということや、どういう色が入るといいのかをお考えいただくといい。

二つ目は、道路標識について、今回の対象ではないということはあるかと思うが、少し、サインも含めて考えられるといいのかなと思う。

三つ目は、東屋やトイレのデザインについて、有機的なものや生物的なものがデザインの方向性としてあり得るのではないかと御提案いただいた。

四つ目は、イサム・ノグチの話について、本来あるものがまだ見えていないというようなことがあると思った。今ある工夫や今までの歴史などを可視化するようなことを考えられるといいと思った。

五つ目は、緑について、高齢化した樹木の話や、今回の対象ではないと思うが、周りの建物に向けて、平和大通りを中心とした緑の拠点のようなものをつくっていくようなことも考えられないかという話だったと思う。

議事(2)については以上である。

○田中座長

それでは、本日の議事(3)「広島市西風館増築工事について（報告）」の説明をお願いします

る。

○井上施設整備担当課長

(議事(3)「広島市西風館増築工事について(報告)」の説明)

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○角倉副座長

4 ページで、既存棟に比べて増築棟は、お別れ室など全てが小さくなったように見えるが、どうか。

○設計業務委託者(株式会社内藤建築事務所 奥谷氏)

既存と比較して、一回りコンパクトになっている。それは計画段階から、建物規模の設定でそのようになっている。

○角倉副座長

承知した。

サイン計画について、石と木という結構大きいコンセプトが建築にある中で、例えば朝風や夕風という、石と木というものとあえてずらされてる理由や意図があれば教えてほしい。石と木になじんだほうがいいのではないかと少し個人的に思った。

○設計業務委託者(株式会社内藤建築事務所 奥谷氏)

ネーミングによる識別については、住民の方に、まずこういう識別をしないと案内がしにくいのではないかと問題提起から共有させてもらった内容であり、一つの例として挙げている。例えば石棟と木棟などもあり得るが、既存の西風館という、少し西風新都にちなんだ西の風というようなどころがあったので、その流れも感じられるような事例を提示した。今後、地元住民の方や所管課と一緒に皆で決めていこうと思っている。

○角倉副座長

そのようなことが分かるようにして、丁寧にしてもらえたらいい。

○今川委員

気になっていたところがうまくまとめられているのでほっとしている。

案内板について、恐らく本館を上の方に大きめにして、北館を少し下げたのは、平面をイメージするようにされているのかと思うが、これはいいと思う。

しかし、北館は木のため、これを見たら恐らく旅館をイメージすると思う。木材と分かりつつも、旅館を彷彿とさせないほうが厳かさは出るのではないかと考えた。だからといってMDFでは木の感じが出ないなと私もいい案がないまま、意見というよりも感想を述べさせてもらった。

○設計業務委託者(株式会社内藤建築事務所 成嶋氏)

例として挙げている本館、北館という名称がそう感じさせるように、言葉のイメージというのは非常に大切だと思っている。名前を決めるまで時間があるので、市や住民の方と丁寧に進めていきたいと思っている。

○高田委員

カスケードの形状変更について、両側がすんと切れていたものをなだらかに、周りの風景と一緒にされたということで、とても良くなったと思う。

○設計業務委託者(株式会社内藤建築事務所 成嶋氏)

直線的なうえ、カスケードで水の勢いが強い印象から、段々をもう少し細やかにして、水の流れを細かく見せられるよう意識した。庭園になじむよう変更した。

○高田委員

そこだけが少しストレートな感じがしていたのが、周りの雰囲気になじんでいて、とても良くなったと思う。

○吉田委員

いろいろ対応していただいて、すごくいい案になったと思う。逆にこの新館ほうが良くなり過ぎて、本館のほうが見劣りするみたいな、そういう現象は起きないのか。なので、新館に合わせて、多少、本館の改修はあり得るのか。

それと、システムの話であるが、石と木で趣が違う二つの建物が同時に存在していて、ここで火葬する人が選べるのか。それとも自動的にタイミングによって木の新館のほうになるのか、石の本館になるのか。

○舟原管理担当課長

まず、既存建物の改修について、既存建物も大変魅力のある建物になっているが、これまで使われた方々から御意見をいただいているところもある。例えばトイレなどのサインの位置が少し悪くて分かりにくいなどである。必要に応じて、そういったところに手を加え、増築をした後に利用者の方が混乱しないよう配慮することは必要と考えている。ただ、大規模な建物の改修工事、部分改装というところまでは考えていない。

予約については、個人で予約される方は全くいないわけではないが、実際は葬祭事業者の方が予約などの手続を行っており、葬祭事業者の方からは既にそういった御意見をいただいている。予約システムはこの工事とは別に構築しており、システム改修は今後必要になってくるため、そういったことも踏まえて対応を考えていく。

○田中座長

それでは、皆様から意見を頂けたと思うので、まとめをさせていただく。

私としても非常にきれいな形で御対応いただけたかなと思っている。

サインのところに関しては重要な点としてあると思うが、その辺りは今後だと思うので、引き続き御検討いただければと思う。

議事(3)については以上である。